

# 洪水・土砂災害 被害防止、軽減を目指す

栗駒山系の土砂災害、北上川やその支川の洪水被害の防止・軽減のため、各メディアからタイムリーに防災情報を発信しています。

☎国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所調査第一課  
☎019・624・3166 / URL <http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/>

## テレビ

■データ放送…NHKデータ放送から北上川などの水位などの情報が確認できます。リモコンの「d」ボタンを押して、「くらし安全」から情報の確認をしてください。

## パソコン

■XバンドMPレーダ雨量情報…2008年の岩手・宮城内陸地震で被害を受けた栗駒山周辺にXバンドMPレーダを設置して、土砂災害の原因となるゲリラ豪雨などを観測・監視しています。URL <http://www.river.go.jp/xbandradar/>

■岩手河川国道事務所のホームページから下記の情報が入手できます。URL <http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/>

《北上川》

◇ライブカメラ映像…北上川の出水状況を確認できます。▷釣山(一関)▷狐禅寺(一関)▷横石(一関)▷諏訪前(川崎)▷下曲田(藤沢)一の映像が配

## 携帯電話

■お知らせメール…北上川の水位が上昇し、洪水の恐れがある時に、水位や雨量などの情報を登録者にお知らせします。登録は無料、大字単位に登録することができます(ただし、登録時やメール受信時に別途通信料が発生します)。



02年の台風6号、07年の梅雨前線による北上川洪水など、本市では、たびたび大きな浸水被害が起きています。08年の岩手・宮城内陸地震では、磐井川上流で大規模な土砂災害が発生し、河道閉塞によって下流地域に甚大な影響を及ぼしました。

災害は、いつ起きるかわかりません。そして、想像を超える自然の猛威は、止めることができません。

災害時には、速やかに安全な場所に避難するなど、冷静で迅速な行動が必要です。日頃から、いち早く防災情報を入手できるように、受信方法を確認し、万に備えましょう。

## いち早く防災情報の入手を

信されています。

◇水位情報…▷釣山(一関)▷吸川の内水、外水(一関)▷狐禅寺(一関)▷妻神(川崎)▷諏訪前(川崎)▷七日町(藤沢)一の水位情報が確認できます。

◇雨量情報…▷栗駒観測所(巖美町祭時)▷一関観測所(釣山)一で測定した1時間ごとの雨量が確認できます。

◇北上川お知らせ隊…地域のみなさんから寄せられた情報が掲載されます。《国道4号線》

◇路面情報…一関の気温、風向き、風速、路面温度、路面状態などが確認で

きます。

◇雨量情報…一関観測所(萩荘)で観測された1時間ごとの雨量が確認できます。

◇道路情報版…一関市萩荘から仙台市、大崎市、栗原市までの距離数が掲載されています。



2002年台風6号で出水した北上川(川崎町)

■川の防災情報…レーダー雨量、雨量・水位・水質などのテレメータ、洪水予報等の情報を確認できます。URL <http://i.river.go.jp> または「河川情報」で検索してください。



表2 放射性セシウム134と137の合計値の結果区分ごとの検体数(8月)

品目	基準値100ベクレル/kg以下の検体数。( )内は「不検出」(*注1)検体数	基準値(100ベクレル/kg)超過の検体数	
穀類	3(3)	0	
野菜類	ジャガイモ	25(25)	0
	カボチャ	21(21)	0
	ミョウガ	18(17)	0
	ユウガオ	16(16)	0
	ナス	12(12)	0
	ネギ	12(12)	0
	キュウリ	9(9)	0
	トウモロコシ	9(9)	0
	エダマメ	8(8)	0
	ニンジン	8(8)	0
	ピーマン	7(7)	0
	オクラ	6(6)	0
	トマト	5(5)	0
	ゴーヤ	4(4)	0
大根	4(4)	0	
トウガラシ類	4(4)	0	
シソ	3(3)	0	
果実類	リンゴ	10(10)	0
	桃	4(4)	0
	ブドウ	3(3)	0

●測定検体数が3以上の品目を一覧●4月からの食品衛生法上の基準値(一般食品100ベクレル/kg)に基づき区分。※注1…「不検出」は検出限界値未満を示し、核種ごとに25ベクレル/kg(40分測定)。

●測定場所 南部農業技術開発センター(花泉町金沢) 北部農業技術開発センター(大東町沼沢) ●測定機器 トライアスラーベクレルファインダー(シンチレーション放射線核種測定器による簡易測定)

# 野菜の放射性物質濃度測定 全て基準値以下

農林産物の放射性物質濃度を測定した結果、県の検査でも全て基準値以下でした。

県が「県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画」に基づき実施した一関市産の農産物(8月分)の放射性セシウムは、4品目全てで基準値を下回りました。表1

また、市民の依頼で市が8月に測定した農林産物は225検体。食品衛生法上の基準値(一般食品100ベクレル/kg)を超過するものはありませんでした。(表2)

表1 一関市産野菜などの放射性物質濃度検査結果(8月)

品目	測定結果	検出下限値
六条大麦	不検出	3.9未満
小麦(11検体のうち検出は1検体)	2.8ベクレル 10検体は不検出	4.2未満
モモ(露地)	不検出	18未満
ブドウ(露地)	不検出	17未満

●測定機関 (果実類) 岩手県農業研究センター(麦類) 日本冷凍食品検査協会 ●測定機器 ゲルマニウム半導体検出器

# 道路側溝土砂のサンプリング調査 市内114カ所で実施

市は、道路側溝に高濃度の汚染土砂が堆積している可能性があることから「道路側溝土砂のサンプリング調査」を実施し、任意に抽出した市内114カ所の集水ますの空間放射線量と堆積した土砂の放射性物質濃度を測定しました。

その結果、22カ所で指定廃棄物とされる1キログラム当たり8000ベクレルを超える土砂が検出されました。

一方、空間放射線量は、80カ所で毎時0.23マイクロシーベルトを下回り、34カ所で上回りました。最高値は毎時0.54マイクロシーベルトでした。追加被ばく線量を年間

1ミリシーベルト(毎時0.23マイクロシーベルト)以下にすることが市除染実施計画の目標です。しかし、毎時0.23マイクロシーベルトを超えた場合でも、周辺住民が受ける追加被ばく線量は年間1ミリシーベルトにならないと判断しています。

いまだ国から土砂の処分策が示されていないことから、市は側溝の泥上げを実施することができません。秋の一斉清掃でも実施しない予定です。市は今回の結果を国や県に示して、側溝土砂の処理方策の提示を求めたり、処理費用に対する助成制度の創設を働きかけたりしています。

**放射能測定情報**  
はこちらから

●市ホームページ「環境放射能に関する情報」(福島第一原子力発電所事故関係)  
<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/1,0,157,html>

●岩手県ホームページ  
<http://www.pref.iwate.jp/>「環境放射能に関する情報」(福島第一・第二原子力発電所事故関係)など

<問い合わせ先>  
本庁放射能対策室  
☎019・8331